

家族の幸せをみつめなごやの夢を実現します。

日本を、
取り戻す。

なごやの
夢

新成長
戦略

政策
実現力
愛知自民



「ムクドリの子害や騒音、
お気づきですか？」



平針・原・植田駅周辺では、群れを成したおびただしい数のムクドリたちが集合します。そのムクドリたちによって街路樹や電線付近は、騒音・道路が真白になるくらいひどいフンの汚れ・臭いなど、たくさんの被害が広がっています。

音で追い払う、街路樹をネットで囲む…それぞれの商店街さんや自治体の皆さんが、たくさんの知恵をしばっていますが解決には至っていません。

加納さんも自分が役立つことはないか模索しています。



加納さんのめざす「持続可能な都市計画」

1 子育て、すべての女性が輝くために。

▶ 女性が輝ける社会を！

加納さんは、女性が安心して子育てに取り組めるよう、待機児童解消に取り組むとともに、自治体のワンストップの子育て支援拠点の導入をめざしています。

また、女性が各々の希望に応じ、家庭や地域・職場においても、個性と能力を十分に発揮できる「全ての女性が輝く社会」の実現を目指します。さらに結婚・妊娠・出産・育児の「きれめない支援」を推進するとともに出産・子育て・介護等と仕事の両立ができるような働きやすい環境づくりを進めます。

あわせて、教育における貧困の連鎖を断ち切るため、新たな給付型奨学金の創設や低所得者の授業料無償化を進めます。

4 天白区役所のハローワーク窓口の活用

▶ 生活保護の若者に区役所内で就労斡旋

障害や傷病が無く就労可能な20～40代を中心とした若者が、就労できずに生活保護を受けている深刻な現状があります。

このため天白区役所にもハローワーク（公共職業安定所）の窓口を平成26年7月より設置し、職業紹介等を始めました。

ハローワークの求人情報端末は、厚生労働省のデータバンクとオンラインで結ばれ、刻々と集まる最新の求人情報を共有しています。地方の求人特に強いハローワークを活用すれば、積極的に就労に向けた環境が作れ、生活保護の若者の就職に大きな効果があると加納さんは考え、この事業を推進して生活保護者の削減をめざしています。

2 そなえる防災、防災の強化

▶ 公助のためにできること

驚異的な被害が想定される南海トラフ巨大地震が、いつ発生するとも限らない状況です。また、東日本大震災を受け防災の大切さと、被災した時の避難施設充実の重要性を再認識させられました。

平成26年に公表された被害想定では、天白区内の死者は最大約30名、揺れによる全壊は最大約500棟と推計されました。

災害時には、一刻も早く避難所を開設し、住民を受け入れる必要があります。現在、天白区で備蓄している食糧は各避難所に最大300食、毛布は20～50枚程度、飲料水・発電機は備蓄されていません。

加納さんは防災機能の強化を図るとともに備蓄食糧品と災害トイレ、ならびに非常用発電設備のより一層の充実を要望しています。

また、池や農業用の溜池が多くあった当地域では、埋め立て地の液状化対策も必要です。下水道など工事の必要なところを調査しています。

5 コミュニティセンターの整備

▶ 活動拠点の充実

植田学区・植田南学区の一部が分離して成立した植田東学区も今年で6年目に入りました。植田東学区にも活動拠点となる場所の確保・建設を要望しています。

建設のために提供していただける場所はなかなか見つからず、現在は学区の活動でさえ小学校を借りて行うという大変な不便を強いられています（それも、学校行事等がないときだけに限られます）。

地域の皆さんが自主的・自発的なコミュニティ活動を行うためにもコミュニティセンターは必要です。

3 公営住宅にもっと若者を！

▶ 子育て世帯に優先。斡旋。

大規模公営住宅では、入居世帯の高齢化が一斉に進み、その子ども世帯は地域外へ転出しています。そこで高齢者世帯と子育て世帯が共存共栄するため、公営住宅の空き部屋の一部を民間企業の知恵と工夫を活かしながら若者にも魅力ある住宅としてリフォーム。世代を超えた交流のある住宅づくりをと加納さんは考えます。

6 福祉・健康施設のさらなる充実

▶ 保健・医療施策の充実

少子化社会の中、子育て支援対策のためにも、すべての子どもたちに等しく医療を提供する必要があると加納さんは考えます。

市立病院のより一層の経営健全化に努め、救急医療や小児・同産期医療といった政策的医療の充実をめざします。

「かかりつけ医」をもつことが重要で、その開業医と病院との機能連携も大切に考えます。

また、名古屋市がん対策推進条例に基づき、がん対策を総合的に推進します。

▶ 介護・障害施策の充実

特別養護老人ホーム等の介護基盤の整備を積極的に進め、超高齢社会に対応して高齢者が安心して暮らせるまちづくりに加納さんは努めています。

また、障害者が安心・安全に暮らせるような支援体制の充実もめざしています。

